

- 延岡市では、地籍調査と森林境界明確化事業により、林地の約65%の境界が明確になっているが、森林所有者の高齢化等により境界を知る精通者の減少や現地調査が難しくなり、山林境界の確認が困難になることが予想される。
- このため、航空レーザー測量成果や航空写真データ解析などのリモートセンシング技術と併せてGPS測量を用い、森林所有者の聞き取りや現地調査を実施することで森林の境界を明確にし、林地台帳に反映した。

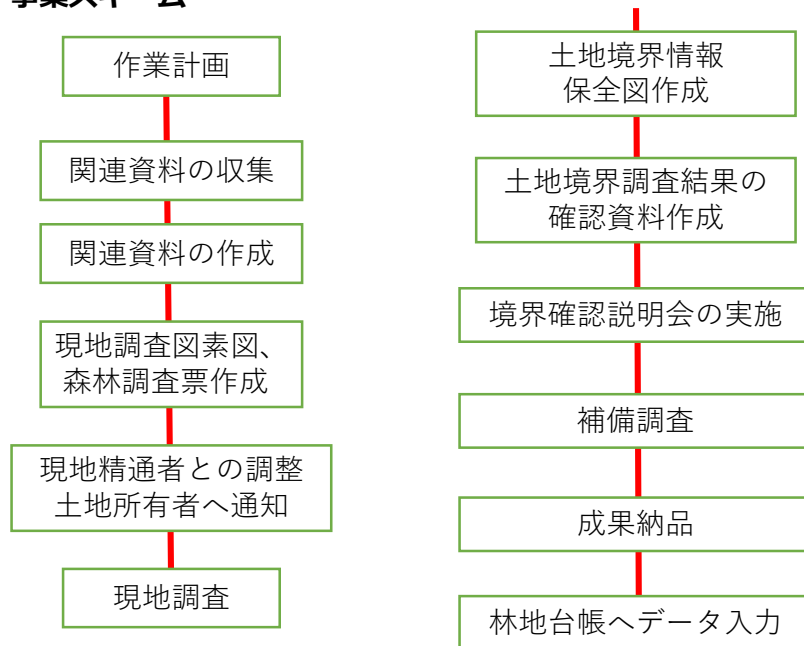
□ 土地境界保全図の作成

航空レーザー測量結果や航空写真を用いたリモートセンシング技術により、現地調査素図を作成。その後、森林所有者が素図を確認し、補備・修正を加えて土地境界情報保全図を作成した。

【事業費】 30,645千円（うち譲与税3,456千円、その他27,189千円）

【実績】 ①北方町二股地区 面積:283ha 筆数:888筆 土地所有者:83人
②北川町祝子川地区 面積:316ha 筆数:576筆 土地所有者:74人

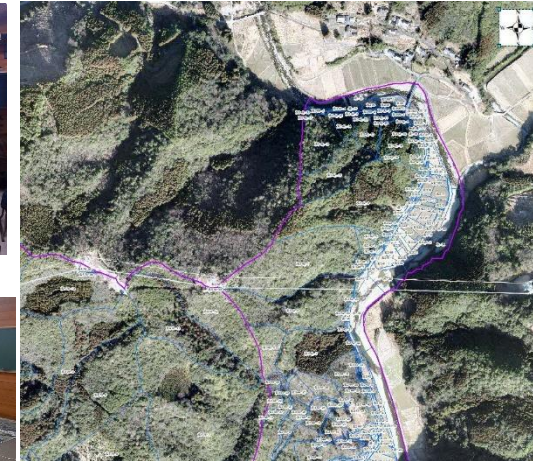
□ 事業スキーム



事業説明会



境界確認協議



土地境界情報保全図

□ 工夫・留意した点

森林境界は、筆界を基準としたため地番との整合を図った。また、作業の効率化を図るため、山林精通者を数名選定し、現地調査図（素図）を基に修正を加え土地境界情報保全図を作成し、森林所有者に確認後、成果品を確定した。山林調査の労力軽減や費用の抑制など大きな成果があった。

□ 基礎データ

①令和5年度譲与額：150,100千円	②私有林人工林面積（※1）：20,395ha	
③林野率（※1）：84.7%	④人口（※2）：118,394人	⑤林業就業者数（※2）：378人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より